

ろが、松林や滝沢たきざわの山に進んで、せまい谷間にさしかかると、仕事はなかなか進まなくなりました。せまくて足場が悪く、資材しざいを運ぶ道もつくらなければなりません。豊助の技術ぎじゆつは、こんな時に役立ちました。道のつくり方、土手どてをささえる材木やソダしばき（柴木をたばねたもの）の巻まき方は、豊助が二十年間、各地で経験してきたことでした。

今までより用水路の幅と深さが大きくなる、水が多く流れるだけ、土手に加わる水のカも大きくなります。特にカー

